



平成26年(ネ)第126号 大飯原発3,4号機運転差止請求控訴事件

1審原告 松田正 外186名

1審被告 関西電力株式会社

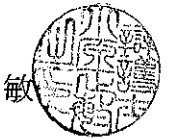
### 証 拠 説 明 書

(乙81~82号証)

平成27年11月24日

名古屋高等裁判所金沢支部第1部C1係 御中

1審被告訴訟代理人 弁護士 小 原 正 敏



弁護士 田 中 宏



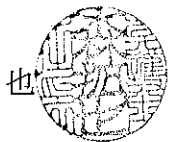
弁護士 西 出 智 幸



弁護士 原 井 大 介



弁護士 森 拓 也



弁護士 辰 田 淳



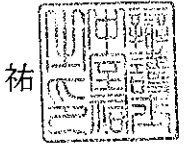
弁護士 今 城 智 徳



弁護士 山 内 喜



弁護士 中 室



号証	標 目 (原本・写しの別)		作成年月日	作成者	立 証 趣 旨
乙 81	大飯発電所 地盤 (敷地周辺, 敷地近傍の地質・地質構造) について (抜粋)	写し	H27. 3. 13	1 審被告	1 審被告の詳細な活断層調査の結果, 上林川断層の延伸は認められないこと
乙 82	高浜発電所・大飯発電所 震源を特定せず策定する地震動について コメント回答 (抜粋)	写し	H26. 1. 24	1 審被告	山陰地方の日本海側で 2000 年に発生した鳥取県西部地震の震源周辺地域は活断層が未成熟であることから震源が特定しにくいのに対して, 本件発電所の周辺地域は活断層が成熟していることから震源が特定しにくいということではなく, 両地域では大きな違いがあること